

内部通報制度 簡単チェックリスト

＼コンプライアンスの強化に／

 Money Forward クラウド

※チェックリストに従うことで、法令違反がないことを保証する資料ではありません。
※あくまで参考としてご利用いただくことを想定している資料です。実際の制度内容は国の資料等をご確認ください。

内部通報制度のチェックリスト①

手順	チェック内容	チェック
1 通報対象の明確化	内部通報の対象となる不正行為や違法行為を明確に定義できている	☐
	通報内容がどの範囲まで受け付けられるかを明確に定義できている	☐
2 通報手段の確保	メールやチャット、専用フォーム、ホットラインなど複数の通報手段が用意できている	☐
	通報者が匿名で通報できる	☐
	通報内容が追跡できるようになっている	☐
3 通報者の保護	通報者の身元を守るための規定や適切な手段を用意している	☐
	通報者に対する報復を禁じることを規定に明記している	☐
4 通報内容の調査	通報内容の調査体制と手続きが明確になっている	☐
	不正行為が確認された場合の対応措置（懲戒処分など）が明確になっている	☐
5 調査結果の報告	通報者が匿名の場合も適切に調査結果を報告できる仕組みになっている	☐
	通報者のプライバシーと通報内容の機密性を守ることができる仕組みになっている	☐